

水害のボランティア

静修小学校六年

佐々木 優

あの災害を起こしたおそろしい台風2号
が来てからもう一年たった。なんて信じられま
せん。今では、つがった家も台風が来たなん
て考えられないほどこきれいになっていると鬼
います。大変な被害を受けた一家にほくはボ
ランティアに行くことになりました。行く
時は、あんまりたいした事はないだろうと思

ってましたが、バスに乗って行く時にいつも
見なれている町がごろまみれになっ。ていたり、
山くずれが起きていたのを見てびくくりしま
した。もっとおどろいた事は、家のかべに水
があがった所まで、どろがついていたことで
す。

バスから降りて、説明を聞きました。
「子どもはあ、ちで木運びをしてください。
と言われたけど少しだけでも役に立ちたかっ。たの
で、大人といっしょに、どろをスコップでト

ラッワに積む作業をしました。
 次に家に入ったら、いろんな物がむち^ちく
 ち^ちにあふれ返っていました。床は抜けてが
 ラスが割れて危なかったです。ぼくは自分か
 ら、
 一 お風呂のどろを全部ほくがやります。
 と言って、中に入りました。人がたし^しん^ん間
 長ぐつがどろの中にしずんでしまいました。
 近くにはガラスの破片もありました。足をとら
 れながらもかんはって、どろを割れたがラス
 から外へ出しました。お風呂の天井を見ると
 水の上があった所がくっきり残っていました。
 ここまで水が上がったんだなと思うと、少し
 こわくなりました。ふと見ると、服がどろま
 みれになっていました。スコップの作業で手
 にマメができていたし、足を踏んばるので足
 が痛かったです。
 外に出て
 一他に仕事はないですか。
 と聞いたら、

「よくがんばったね。休けいしていいよ。」
 と言われました。でも、ほくははりきで、
 「だいじょうぶ。」

と言って、次の倉庫のどろをトラックに入れ
 る作業にかりました。お風呂のどろより重
 くて大変でした。

昼になってご飯を食べたら、とてもおいし
 かったです。年後からもがんばるぞと決心し
 ました。昼からも時間を忘れて一生けん命し
 ました。

そして、ついに倉庫のどろが全部とれまし
 た。思わづ「やった」と叫びたくなるぐらい
 うれしかったです。

全て終わって、ほくは周りにた大人に
 「すこいな。よくがんばったな。」
 と言われて、うれしかったです。いい事をし
 たなと満足感でいっぱいでした。

その後、その家の様子はまだ見ていません。
 きつと元の通りきれいになって、元気に暮ら
 しておられるだろうと思います。